

事務局からのお知らせ

♥……このところ急に、女性スポーツに対する一般の人たちの認識が、高まってきたような気がします。その分、三ツ谷代表が「女性スポーツ」について話したり書いたりする機会が、増えていきます。7月16日には、東京都の女性議員・報道関係者・執行機関の理事者による交流団体「Wの会」に出席しました。都の審議会の女性委員がゲストとして招待され、都のスポーツ振興審議会委員である三ツ谷代表にも、声がかかったというわけです。

出席した感想は「福祉や消費生活関連の審議委員など大勢見えていたけれど、かなり年配の方が多く、若い女性が目立つ都議会議員と対照的だった」とのこと。「Wの会」世話人代表で、都議会副議長の四谷信子さんに、お礼の手紙と前号のニュースをお送りしたところ「スポーツ界は、想像以上に保守的な世界のように、びっくりました」というお電話をいただいたとか。女性スポーツの現状をより多くの人に知ってもらおうということは、日頃のこうしたやりとりを、こまめに続けていくことも大切だと思います。

♥……WSFジャパンを多くの人たちに知ってもらおうというので、2年前

から始めたのが、各会員のWSFジャパン・ロゴマーク入り名刺の配布です。仕事先などで、本来の自分の名刺と一緒に相手に渡して、PRしているというわけです。目下、15人の会員が携帯しています。料金は無料。ただし自宅の住所等を入れる場合は、100枚で千円でいどの料金がかかります。この機会に、あなたもいかがですか？詳しくは、事務局まで。

♥……6月27日の総会で、このWSFジャパン・ニュースの発行に関し、企画を広報委員会が、制作をSPORTS21が行うことになりました。年4回の発行を続けるには、広報委員会の委員だけで企画・制作はむずかしいという判断からです。ニュースの内容に関してご意見、ご希望がありましたら、広報委員会へどしどしご連絡ください。なお、次号(21号)からは装訂を新しくし、8ページから12ページにボリュームもアップします。「オシャレ」と思わず叫んでしまいそうな、素敵な機関紙に变身します。10月末の発行を、お楽しみに。

♥……今号のインタビュ欄を担当した高橋昭子さんは、原稿を整理したりする編集の仕事は得意ですが、インタビューして原稿を書くのは、これが初めて。前日から質問事項を書き出したり、カメラの準備をしたり、かなり緊

張っていました。その成果は4、5ページを読んでもいただくとして、「鈴木監督がよくしゃべる方なので、助かりました」と、ホッとした表情でした。

♥……WSFジャパンに寄贈していただいた書籍の一部をご紹介します。「現代社会とスポーツ」ピーター・マッキントッシュ著、寺島晋一、岡尾恵市、森川貞夫編訳(大修館書店91年6月10日発行)WSFジャパン会員の小高みどりさんが編集にかかわられました。英国のスポーツ・フォア・オールの流れと現状などがまとめられています。

♥……このところ、スポーツ界の著名な方々が続々と入会してくださっています。男性会員が増えてきたのも、最近の傾向です。女性の問題は、男性も一緒に取り組んでこそ真の解決につながるのです。

新会員紹介

団体会員▽(株)チャックウイルソン エンタープライズ(東京・港区)▽東京ボウリング協会の協賛(東京・中央区)個人会員▽荒木田裕子(東京・品川区)▽佐々木秀幸(東京・練馬区)▽小野漣子(東京・千代田区)▽落合和彦(東京・港区)▽野々宮徹(愛知・名古屋)▽田部井淳子(埼玉・川崎市)(7月31日現在)

WSF ジャパンとは……

WSFジャパン(女性スポーツ財団日本支部)は、米国のWSFをお手本とし、日本の女性スポーツの発展、振興を目指し1981年12月に旗揚げされた非営利の団体です。会員は選手、指導者をはじめ、一般のスポーツ愛好者、研究者、スポーツビジネスにかかわる企業関係者など、男女を問わずさまざまな分野にわたっています。

運営は会員の会費を財政基盤とし、ボランティア活動によって支えられています。

学生会員…3千円	入会金	年会費
個人会員…3千円		5千円
団体会員…5千円		8千円
賛助会員…5万円		1万5千円
		10万円(一口)

WSF Japan News
第20号(季刊II夏季号)
発行 1991年8月
発行人 三ツ谷洋子
編集 WSFジャパン広報委員会
発行所 WSF Japan
〒151 東京都渋谷区西原
3-36-23 1202
☎03(3467)5211